

やぶつばき



令和5年12月15日(金)

例年れいねんにない暖かい師走あたたかいしわすになっておりますが、本校ほんこうは、インフルエンザいんぷるえんざが流行りゅうこうで、学年閉鎖がくねんへいさにとどまらず二日間の臨時休校にんじきゅうこうとなりました。保護者ほごしやの皆様みなさまには、急な対応きゅうたいおうへのご理解りかいと協力きょうりょくをありがとうございました。二学期も残りにがつきのこりわずか、落ち着いた学校生活とちどしを取り戻し、学びを締めくくるよう努めつとてまいります。



5・6年生 防災教育 (12/4)

四日市大学の副学長、
鬼頭 浩文先生を講師に
お招きし、「災害を自分事

として考える～東日本大震災を教訓に～」というテーマでご講演こうえんいただきました。また、宮城県みやぎけんの東松島市ひがしまつしましとZoomでつなぎ、東日本大震災を当時小学5年生で体験した、現在大学げんざい院生いんせいの雁部かりべさんからもお話を聞かせていただきました。地震の揺れゆれがどんなものであったのか、学校や家いへがそのときどうなったのか、更に津波つなみの脅威きょうゐを写真と語りかたで教えていただきました。



雁部さんに質問。

災害は本当に怖いということがわかりました。ご飯い・トイレい・飲み物のみがどれだけ大変なのか...

雁部さんの話を聞いて、私たちのような子どもでもできることがあるのだなあと思った。

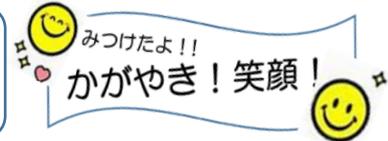
5年:起震車:震度6強の体験



6年:簡易トイレ・ダンボールベッドの組み立て訓練



～学びの一体化～ 6年生 人権フォーラム 12/7



人権フォーラムは、西朝明中学校区の学びの一体化の取り組みの一つです。下野小学校の6年生と本校の6年生、そして西朝明中学校の1年生が集いました。

「わたしのせいじゃない」という教材を使い、いじめについて、小グループで意見交換をしたり、全体の場で話し合ったこととの交流をしたりしました。本校の児童は、各グループに一人ずつ入ることになりました。それでも、しっかりと自分の考えや思いを話している姿があり、頼もしく思いました。本校で学んできたことが生かされている点もよかったところでした。いじめを自分事として考え、行動できるよう、これからも学びを深めていってほしいと思います

3年生・5年生 かぶせ茶の体験 12/5



3年生は、社会科の学習で四日市の特産物のかぶせ茶について、その歴史や生産方法を学びました。また、5年生は、家庭科の学習で、お茶の入れ方やお茶の種類等を学びました。そして、どちらの学年でも、かぶせ茶を自分たちで入れ、かわいいお茶菓子とともに味わいました。



一口飲んで、「渋いっ」と言った子も「甘いお茶菓子といっしょだとおいしい」と話していました。四日市ならではの学びができましたね。

クリスマスデー 12/6



八郷西小学校のクリスマスデーと称して、全学年が1時間ずつ外国文化（クリスマス）に触れました。本校の英語指導員のリッチ先生に加え、昨年度お世話になったフェルディー先生も来てくださって、クリスマスソングを歌ったり、クリスマスワードを使ったアクティビティをしたりして、とっても楽しい1時間を過ごしました。



クリスマスカード作りを行いました。リッチ先生やフェルディー先生のことは(英語)とジェスチャーをよく聞いて、見て、作業を進めていました。



クリスマスのワードを使って、ビンゴゲーム

3年生 なんちゃって漢字に取り組み中



本校では、朝学習の時間に漢字学習を行い、その定着に力を入れています。左の写真は3年生。「なんちゃって漢字」というネーミングで、よくある漢字の間違いを子どもたちに示し、間違っているところを見つけ合っていました。クイズのように楽しんで学んでいました。

漢字を覚えるために大切なのは、正しい文字を繰り返すことです。誤って覚えてしまったら、誤った部分に自分で着目できないと誤りを繰り返してしまいます。3年生のように誤った部分をクイズにすると、子どもたちはよく文字の形を見て比べます。また、指で誰かの背中に漢字を書いて当てっこをする遊びも手の感覚が脳に伝わりやすく記憶に残りやすいといわれています。自分に合った漢字の覚え方を見つけられるといいですね。